

(別添2)

第30回花の国づくり共励会

花き技術・経営コンクール応募用紙(集団の部)

1. コンクール参加者

都道府県名

市町村名

農協名

(ふりがな)

組織名(団地名)

組織形態(加入戸数または人数)

(戸・人)

設立年月日

主要花き

所在地(住所)

電話番号

(ふりがな)

代表者名

年齢

(歳)

2. 組織の構成

- (1) 組織構成図（内部組織及び外部関係機関との関係を図示する）

- (2) 規約（別紙として、添付すること）

- (3) 事務担当（組織事務を誰がどのように担当しているかを明らかにする）

- (4) 協業（協同）者名簿一覧表（別紙）

3. 活動内容

- (1) 生産活動（組織内で生産場面でのどのような活動をしているかを明らかにする）

- (2) 共販活動（組織でどのような共販活動をしているかを明らかにする）

- (3) その他

4. 組織の主要指標（令和2年度）

(1) 個数及び耕地面積

加入農家戸数	農家戸数（戸）				耕 地 (ha)			
	総 数	専 業	第1種 兼 業	第2種 兼 業	田	畑	樹園地	計

※耕地面積は、農業経営に使用する耕地面積の実面積を記入すること。

(2) 平均年齢及び平均経験年数

平均年齢	平均経験年数

(3) 耕地面積の規模別戸数

	0.5ha 以下	0.5～ 1.0ha	1.0～ 1.5ha	1.5～ 2.0ha	2.0～ 2.5ha	3.0ha 以上	1戸当たり 耕地面積 (ha)
耕地面積							

(4) 花きの種類・規模別戸数

ア. 露地花き

区分 種類名	10a以下	10a ～ 25a	25a～ 50a	50a～ 75a	75a～ 100a	100a～ 150a	150a 以上	1戸当たり 面積 (a)

イ. 施設花き

区分 種類名	10a以下	10a ~ 25a	25a~ 50a	50a~ 75a	75a~ 100a	100a~ 150a	150a 以上	1戸当たり 面積(a)

ウ. 農業労働力

区分 年 齢	農業従事者		農主従事者		兼主従事者	
	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)
~39歳						
45~59歳						
60歳 以上						
小 計						
合 計						

エ. 組織が保有並びに利用している農業施設等

(ア) 施 設

種 類	新築年次	構 造	建物面積(m ²)	利用作物	保有形態

※保有形態については、組織が自ら保有しているものと、JAなど地域の施設を利用しているものを区分して記入する。

(イ) 主要な農業用機械及び施設装置

機械等名	台数・個数	導入年次	能力	年間利用時間(hr)

5. 花き協業（共同）経営の状況

(1) 作付体系（主要な花きの作付順序・時期を記入する。）

月 旬 花きの種類	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
例) キク	挿芽 ○	定植 ▼		シェード □	シェード □	収穫 ■			

(2) 栽培面積等の推移（最近3か年）

ア. 露地花き

単位：a，千本（鉢），千円

花きの種類	栽培面積			出荷数量			生産額			10a当たり収量			主な品種
	29年	30年	令和元年	29年	30年	令和元年	29年	30年	令和元年	29年	30年	令和元年	

※栽培面積は、延べ面積ではなく実面積とする。

※出荷数量は、栽培面積に対応した出荷数量(延べ数量)とする。

※10a 当たり収量は、「出荷数量(10a 当たり)÷栽培面積(10a)」とする。

イ. 施設花き

単位：a，千本（鉢），千円

花きの種類	栽培面積			出荷数量			生産額			10a当たり収量			主な品種
	29年	30年	令和元年	29年	30年	令和元年	29年	30年	令和元年	29年	30年	令和元年	

※栽培面積は、延べ面積ではなく実面積とする。

※出荷数量は、栽培面積に対応した出荷数量(延べ数量)とする。

※10a 当たり収量は、「出荷数量(10a 当たり)÷栽培面積(10a)」とする。

(3) 10a 当たり労働時間等

作業名	作業時間 hr	うち雇用 労働時間 hr	うち動力 作業時間 hr	作業時間		作業別に見て労力 節減をした点	備考
				集落標準 hr	県等標準 hr		
計							

(5) 営農資金等の借入状況

借入資金名	借入金の用途	借入先	当初借入 年 月	当初借入金額 (千円)	借入金完済年月	借入残高 (千円)

6. 協業（共同）の経緯や動機

（※花きの協業（共同）経営の開始した経緯や大幅な経営改善を行った動機等について記述）

7. 花き栽培技術について特に工夫した点とその効果

（※立地条件に対応し工夫した栽培方法、特に工夫した栽培技術、新規に取り組んだ栽培技術・品種等について記述）

8. 花きの出荷・販売について特に工夫した点とその効果

（※消費ニーズの把握、新たな出荷・販売戦略の展開、生販連携の取り組み等について記述）

9. 労働軽減や雇用管理等について特に工夫した点とその効果

10. 環境保全や省エネルギーについて特に工夫や配慮した点とその効果

11. 協業（共同）経営の合理化を図るために工夫した点とその効果

12. 協業（共同）経営が構成員個人の経済に及ぼした効果

13. 今後の改善点

14. その他協業（共同）経営の特記すべき事項
（※次代の担い手の育成、花きの輸出促進の取り組み等について記述）

15. 花の国づくり都道府県推進協議会等審査講評
（※この事項は、花の国づくり都道府県推進協議会等の推薦があった場合には記述してください。また、審査長の氏名、捺印をしてください。）

